

国際会議から 産業応用リニアドライブ技術に関する国際シンポジウム (LDIA2015)

本国際会議は日本のリニアドライブ技術の国際振興と世界中のリニアドライブ関連技術者間の情報交換を行う場として、1995年に第1回が長崎県伊王島にて開催されました。その後、1998年東京、2001年長野と続き、第4回以降は隔年で、海外でも開催されています。今回は第10回で、ドイツ、アーヘンにて開催されました。アーヘンはケルンの西に位置するドイツ最西端の都市で、市の中心にはドイツ初の世界遺産、アーヘン大聖堂が位置しています。



ドイツ鉄道ICE3車両と筆者



会場となったSuperC

会場はそこからほど近い、RWTH Aachen University (アーヘン工科大学) の SuperC という“逆L字型”をした奇抜な建物で、発表はその逆L字型の横辺、宙に浮いた部



依田裕史
浮上式鉄道技術研究部
電磁システム研究室
研究員

分の部屋で行われました。

本会議では2日間に渡り、リニアドライブ技術に関する合計60件以上の発表が行われました。筆者は“Shielding Effects of Reaction Magnetic Flux on Armatures of Eddy-Current Rail Brakes in High-Speed Regions”というタイトルで、渦電流レールブレーキに関する発表を行いました。日本では馴染みの薄い渦電流レールブレーキですが、ドイツでは高速鉄道車両ICE3に搭載され営業運転で使用されています。本会議では鉄道以外の幅広い分野への応用が見られ、リニアドライブ技術の裾野の広さを感じるとともに、参加者それぞれの専門にとらわれることなく、有意義な意見交換を行うことができました。

正式名称：10th International Symposium on Linear Drives for Industry Applications
 開催国：ドイツ(アーヘン)
 期間：2015/07/27-29
 主催：Institute of Electrical Machines, RWTH Aachen University
 開催頻度：隔年
 次回開催予定：2017年 大阪
 ホームページURL：http://www.ldia2015.org/